

SHIRO TORI 通信

Vo.39

2025 winter

株式会社 城取建築設計事務所

今月の地元パワーは

まだ出会ったことのない
自分に出会ってほしい！

「『』TAILOR」さん

城取設計ニュース

オススメ！この一冊

建築ニュース

建築探訪

建築設計の仕事

実録！地元のチカラ この街の企業

ビアドパパ季節商品

営業コラム





建築 NEWS

建設業の2025年問題 熟練大工の大量引退

2025年は、いわゆる「団塊の世代」（1947～1949年生まれ）が全員75歳以上の後期高齢者になります。大工の就業者数は2020年時点で29.8万人。戦後ピークだった1980年が93.7万人で40年の間に約3分の1に減少しました。建設業は他の産業に比べ高齢化が顕著で、2020年時点で60歳以上が大工全体の43%を占め、平均年齢は54.2歳に上昇しました。30歳未満の若年層は7.2%にとどまっています。団塊の世代が一斉に引退し、若手の担い手も増えない中、人手不足が一層進んでいくのは間違いありません。



また、ベテラン技術者の退職により知識・経験の喪失が予想され、その結果、生産性の低下やプロジェクトの遅延などが懸念されています。大工技能を学ぶ公的な職業訓練校もここ20年で相次いで閉鎖し、また一人親方も弟子をとらなくなったことで、技能承継が大きな課題となっています。

大工が急激に減少する状況が続けば、経済や社会基盤への影響も避けて通れなくなると考えられます。労働環境の改善やIT、AIの活用、若年層への職業教育や魅力の訴求など、多方面からのアプローチが必要になると思われる。

城取設計 ニュース

2025年を迎えて

2025年を迎え最初のニューズレターとなります。2024年は、年始の能登半島地震をはじめ大変な出来事も多い一年でした。能登半島地震を受けて、日本では建築基準法のさらなる強化が議論されていて、古い木造住宅の耐震補強や、密集市街地の防災対策が重要視されています。弊社も公共事業はじめ、比較的大きな建物の設計が多くあります。お客様、利用者の皆様が安心して暮らせる空間づくりを大切に組み組みたいと考えております。

つて初めての経験です。巳年のごとく、しなやかに力強く成長し、飛躍の一年となりますように、健康と幸運が皆様を訪れますよう心よりお祈り申し上げます。本年もよろしくお願いたします。



おススメ

この一冊

「DIE WITH ZERO

人生が豊かになりすぎる究極のルール」

ビル・パーキンス（ダイヤモンド社）

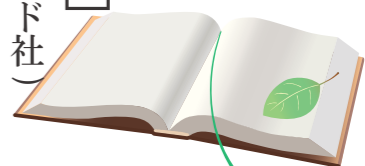
「ゼロで死ぬ。」

経済学者も絶賛した、最上級に人生に響く生き方

アリとキリギリスの寓話をご存じでしょうか。夏の間に冬の備えをする働き者のアリ。本書はそのアリの働き方に疑問を投げかけます。「アリはいつ遊ば事ができたのだろうか？」

「DIE WITH ZERO」のタイトルは死ぬときに何も残さず、ゼロで死のうという意味です。老後の生活が不安だからと、収入を貯蓄に回すことばかり考えてしまいがちですが、本書では「死ぬ時に数万ドルの資産がある」ということは、その分「タダ働き」したのと同じ」とあります。

自分のやりたい事ができる体力のあるうちに、今しかできないこ



ビル・パーキンス 著／児島 修 翻訳
定価：1,870円（税込）
発売日：2020年9月29日
形態：単行本（280ページ）

「人生で一番大切なのは思い出をつくることだ。』生きたお金の使い方を考えるきっかけになる一冊です。

建築探訪

軽井沢聖パウロカトリック教会

カトリック教会

今回ご紹介するのは、軽井沢聖パウロカトリック教会です。長野県北佐久郡軽井沢町にあります。アメリカ建築界の巨匠、アントニン・レイモンドの設計で、昭和10年に完成しました。

当時、軽井沢には外国人の所有する別荘が300戸以上あり、多くの外国人滞在者のために、イギリス人のウオード神父により建設されました。軽井沢ゆかりの作家、堀辰雄や川端康成などの文学作品にも登場している伝統的なカトリック教会です。

傾斜の強い三角屋根、尖塔が特徴的で、打ちっぱなしのコンクリートとの調和が絶妙です。

板葺きの内部には素朴な美しさがあり、日本にいることを忘れてしまうような静かで儼かな空間になっています。



特集

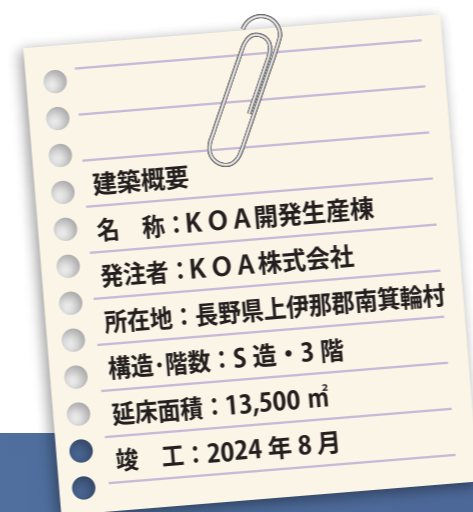
施工事例

創業61年を迎えた城取建築設計事務所が手がけた設計作品を紹介します

歴史と文化を後世に残し地域の魅力を発信する拠点と考え、過去から未来へつなぐ施設を作ります。

施工事例

研究開発機能を 集約した新たな拠点 【さくらウイング】



KOAは世界の固定抵抗器市場でトップクラスのシェアを占める電子部品メーカーです。これからの世の中の変化・要求に柔軟に対応するためには大幅なスペース不足が想定されています。更に脱炭素に向けた世の中の動向から抵抗器の需要拡大が見込まれており、新たな研究開発拠点を設けることとなり設計のご協力をさせていただきました。

本計画で重要になった大きなポイントは「環境配慮」と「BCP・災害対策」の二つです。

まず環境配慮については、各企業様にとって脱炭素への取り組みは企業価値の向上に直結しており当然の課題となっています。またKOA様は「循環・有限・調和・豊かさ」という理念を掲げていて「環境配慮」をより重要視されており二つの要望をいただきました。

一つは省エネルギーへの対応です。大容量の太陽光パネルの設置、外装の高断熱化、高効率機器の採用などを行っている他、オフィスにはOAフロアーを利用した床吹き出し空調を採用しました。省エネに加え、ワーカーの快適性の向上につながっています。

もう一つはサステイナブル建材の採用です。お客様を迎えるエントランスホール、応接室、展示スペースなどに地域産・国産の木材や珪藻土を積極的に利用しました。環境負荷の低減になるだけではなく、温かみのある雰囲気演出しています。

BCP・災害対策を考える上で重要な高い検討項目の一つが地震発生時の想定です。今回は建築基準法の1・25倍の耐力を持たせた構造とする他、



エントランス



外観

耐震天井を採用しています。電源の確保も重要ですが大容量の太陽光を活かした蓄電池を設けています。また外壁に面する部屋には開閉できる窓を多く設けていて、これは停電時に換気に使えるほか、避難にも有効です。

従業員が利用するリフレッシュスペースやお客様を迎える2階の展示エリアからは南アルプスの壮大な景色を望むことができ自然の豊かさ、美しさを実感できます。この自然に恵まれた伊那谷に設けられた開発生産棟が新しい技術・製品を生み出しKOA様の発展を支える一つの拠点になってくれればと願っています。



1Fホール



2Fホール

高級食パン専門店
これぞパンです
This is a "PAN"!!



ビアードパパ季節商品

昨年7月オープンしました「ビアードパパ伊那店」ですが、お陰様で多くのお客様にご来店いただいております。

一番人気は定番のカスタードですが、「ビアードパパ」の売りは、月替わりや季節限定の期間限定メニューです。

過去には、「贅沢いちご」「抹茶」「焼きチョコ」「焼き芋」「モンブラン」など、毎月楽しみにしているお客様も多いです。



本店
長野県上伊那郡
南箕輪村 298-5
TEL.0265-97-1376
OPEN 10:30 ~ 18:00

※パンが売り切れ次第終了
定休日 不定休

営業コラム



よく仕事もし、よく飲食もし、よくゴルフにも行く母親も高齢になり、改めて一緒に旅行に行って良かったと思う東京旅行となりました。

12月のことになりましたが実家の母親を連れて東京旅行へ行ってきました。長男と長女が東京で学生をしていることから、一度は連れていきたいなと考えていたところ急ではありましたが一泊二日できず東京へ。一日目の午後は妻の推薦もあり「はとバス東京ツアー」へ参加、レインボーブリッジ&銀座を約60分かけて2階建てオープン（屋根なし）バスに乗り込み東京タワーや銀座、虎ノ門ヒルズなど東京の名所を駆け抜けました。夕飯は息子がバイトする焼肉店に行き、息子の働く姿を見ながら飲み食いし、翌日は朝から映画鑑賞、昼は娘がバイトするお店でランチを食べ、午後は場所を移動して劇団四季のミュージカル『アラジン』を鑑賞！普段ゴルフで足腰も丈夫な母親もきつと疲れたに違いありません。



この街の企業

実録

地元のチカラ

今回ご紹介するのは、伊那市でオーダースーツ屋をしている酒井勝哉さんです。

【起業のきっかけは？】

当時の情勢が、男性が弱く頼りないと女性が嘆いているような傾向にあった。

スーツを着た時の背筋がピンッと伸びる感覚が「俺ってカッコいいだろ？」と自己満足でもいい



で思う事で自己肯定感が増し、内面から外面へ自信が出る↓たくましくカッコ良く見える↓女性にも頼りがいがある男という見え方にも変わる↓褒められて更に自己肯定感が増す↓人生が豊かになっていく↓etc. と自分が手がけたスーツが世の中に好循環を生み出せると思いきや、

【ロクの意味は？】

二つ理由があり、一つ目は屋号

まだ出会ったことのない 自分に出会ってほしい！

『TAILOR
(伊那市)』



がカッコつけるテラー。格好つける』『』を付けるをかけたオヤジギャグですね。とはにかむ。もう一つは、「」の部分で額縁をイメージしており、素晴らしい絵画になるのは貴方ですよ。という意味が込められているという。

【今後の目標は？】

まずは上伊那に私服でもジャケットトースーツをカッコ良く着こなすイケてる男性を増やさせること。普段自分では挑戦しない色味やシルエツトの後押しをし、まだ出会ったこと事のない自分に出会っていただきたい。たくさんの笑顔を創り出し世の中に貢献したい。皆様も熱いパッションに溢れたカッコいい勝負服を試してみてくださいいかがでしょうか。

カッコつけ、輝き、生きる

伊那市出身の34歳。【カッコつけて輝き生きる】世の中の男性たちが自分の手がけたオーダースーツを身にまとい内面から自信に満ち溢れて輝いて生きてほしい、普段着からジャケットスタイルでカッコいい男性を増やそうと奮闘中。



『TAILOR
長野県伊那市
TEL: 090-9480-3383
※完全予約制

代表の横顔

酒井 勝哉 氏

時代の流れと共に、生活環境や価値観も変化し続けています。

私たちは、今の時代にあった環境づくりと、そのために必要な技術の向上を目指し、そして、明るい未来づくりのために、今後も走り続けていきます。

城取設計は城取義直が1963年に創立した会社です。創立当初は「構造設計を持って設計する会社」が少なかったこともあり、全国レベルでの建築設計に取り組んできました。当時としては斬新な構造設計の技術などが買われ、多くの依頼を頂くようになりました。先代である城取義直は技術革新を事業コンセプトに掲げ、情報収集に尽力を費やしていました。職人さんの技術向上のために最先端のスキルや情報を惜しみなく学ばせていました。例えば、塗装の塗り方ひとつにとっても職人さんの技術向上に役立つものであれば、職人さんと一緒に現地見学に行ったりもしました。その積み重ねが確かな自信と経験を生み、会社を成長させる原動力になりました。先代の職人を大事にする気持ちが、今日の城取設計を作ったと言えます。



城取建築設計事務所のポリシー

建物を作ったという実績のみならず、仕事に対しての情熱や誠実さが評価されての実績だと、私たちは考えております。施主様の満足が続く建物を作り続けること。継続的なアフターフォローを通じて、責任を全うすること。一般建築物よりも建築基準が高い公共施設の設計技術を一般建築物にそのまま反映させる姿勢がお客様と施工者との信頼関係に繋がっていくのだと思います。妥協を許さない姿勢、費用面を含め、気軽に相談できる体制に親しみを感じていただければ、幸いです。

設計からアフターフォローまで責任を持って取り組みます

事前打ち合わせ

設計業務

監理業務

費用は掛かりません

ご相談

ヒアリング

現地調査

ご提案

設計監理契約

基本設計

実施設計

工事業者選定

工事業者決定

監理業務

竣工

アフターフォロー

株式会社 城取建築設計事務所

■創立：1963年4月1日

■代表取締役：城取健太

■資本金：1000万円

■登録：(伊那)M第7Y051号

■取引銀行：八十二銀行 伊那支店
アルプス中央信用金庫 本店

■所属団体：(社)長野県建築士事務所協会
(社)長野県建築士会

■事業内容

- ・建築・構造・設備に関する企画・設計・監理
- ・医療福祉施設に関する企画・設計・監理
- ・商業施設に関する企画・設計・監理
- ・環境・地域計画に関する計画・設計・監理
- ・建物構造調査・診断・設計・監理
- ・既存建物の改修・リニューアル計画・設計・監理

■本社

長野県伊那市西町 5863-1

TEL：0265-72-7271

FAX：0265-72-7270

